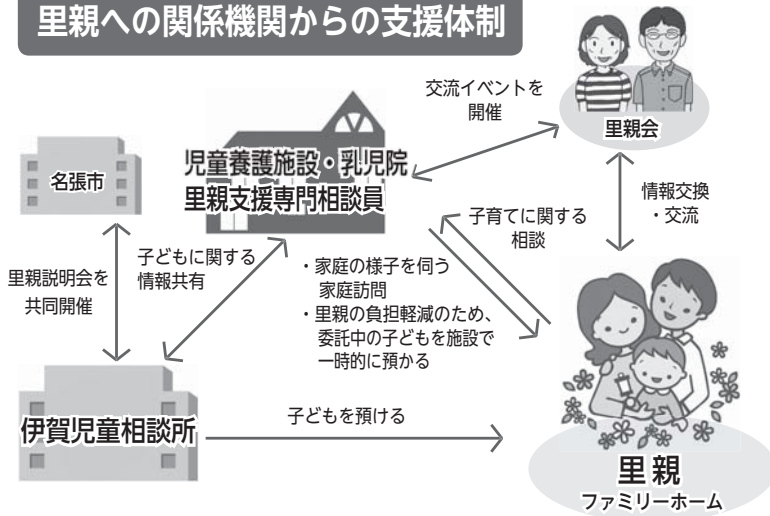


里親家庭を支える取り組み

子どもたちと里親の皆さんをさまざまな機関が連携し支える仕組みがあります。

里親への関係機関からの支援体制



里親登録までの流れ

- ① 伊賀児童相談所に電話 (☎ 24 - 8060)
- ② 登録前研修 (3日間) を受講
- ③ 児童相談所職員による家庭訪問
- ④ 県内の乳児院または児童養護施設で2日間の実習を受講
- ⑤ 審査を経て、知事が里親として認定し、里親名簿に登録



また、里親制度について知っていたり、市や県では里親に関する説明会を開催し、普及に努めています。

他にも、経済的な負担を軽減するため子どもの養育費を支給しています。里親に関する各種支援や制度のことなどもお問い合わせください。

子どもの幸せを第一に 児童相談所

まだまだ足りない 里親の人数

近年では、全国的に虐待などをはじめとする子どもや家庭を巡る問題が複雑・多様化しています。私たちが伊賀児童相談所では、問題が深刻化する前に早期発見を図り、各関係機関と連携を強化しています。

家庭の問題や置かれた状況などを踏まえ、最も効果的な援助を行います。その中で、保護が必要な子どもたちに対して、里親家庭へ

委託するか施設への入所を依頼するかの検討も行っていきます。

私たちは、子どもたちが安心・安全な暮らしができるように対応することを第一に考えています。例えば、子どもの負担を軽減するため、転校せずに済むように現在通う学校の校区内で里親を探すなどです。

現状ではまだまだ里親の人数が足りません。地域の中に子どもたちを迎え入れることができる里親が増え、

伊賀児童相談所 児童福祉司
米澤 明子さん



さまざまな関係機関が里親家庭を支える

さまざまなケースに対応できることは、子どもたちにとっての選択肢が広がることとなります。

長期は無理でも短期なら預かることができるなど、限られた範囲でも構いません。子どもたちのために力になりたいと思う人がいればぜひ、伊賀児童相談所へご連絡ください。

各関係機関では、里親になった人たちにより長く活躍していただくため、さまざまな支援を行っています。

里親家庭の皆さんからの子育てに関する悩み・相談については、私たち伊賀児童相談所や名張養護学園に配置されている「里親支援専門相談員」が伺います。

「里親会」では里親同士での相談や情報交換だけでなく、里親家庭と名張養護学園の子どもを交えた合同イベントも開催しています。

もっと知りたい里親制度

里親は養子縁組ではありません

里親には、さまざまな理由で家族と生活できない子どもを一定期間養育する養育里親などがあります。里親＝養子縁組ではありません。

里親になるために資格は必要ありません

研修を受けるなど一定の要件を満たしていれば、特別な資格は必要ありません。欠かせないのは、子どもの養育に対する理解と熱意、豊かな愛情です。

養育費が支給されます

里親には、迎え入れた子どもの養育費として里親手当、生活費、学校教育費、子どもの医療費などが支給されます。

※養子縁組里親、親族里親には里親手当の支給はありません。

里親の種類は全部で4種類

養育里親

家族と暮らせない子どもを一定期間、自分の家族に迎え入れて養育する里親です。

養子縁組里親

養子縁組によって養親となることを希望する里親で、養子縁組が成立するまで里親として養育します。

専門里親

虐待や非行、障害などの理由により専門的な支援が必要な子どもを養育する里親です。

親族里親

家族の死亡、行方不明などにより養育できない場合に、祖父母などの親族が子どもを養育する里親です。

児童養護
施設

子どものために
最善の利益を

名張養護学園 園長
山口 伴尚 さん



子どもが安心して暮らすためには、里親家庭が増えると同時に、私たちの施設も努力し、更なる改善が必要と考えます。

名張養護学園では平成27年に建て替えを行い、大人数用の食堂や浴場から個室の浴室やキッチンに変えて、建物を家庭的にしました。また、建て替えと同時期に40人の定員を30人まで減らし、生活単位を7~8人の小グループに分け、子どもたちと密接に関わることができる体制へ切り替えました。

里親家庭での生活は家庭の中で同じ人がそばにいてくれる温もりや安心感があります。一方、施設ではさまざまな資格を持つ職員による専門的な対応が可能です。

子どもたちの幸せのため、それぞれの特徴を生かし、さまざまなニーズに対応していくことが求められます。私たち名張養護学園も里親や地域の皆さんと共に、子どもたちの未来のため活動していきます。



家庭と同様のキッチンでは職員が毎食ご飯を作ります。

名張市

里親講座を開催

子ども家庭室 室長
福地 さおり



市では、里親制度への理解と登録推進を目的に毎年、里親入門講座in名張を開催しており、今回で6回目となります。

里親になるまでの流れや県下の子どもの関する現状について詳しくお話しする他、講座終了後には里親に関する個別相談も受け付けます。この機会にお気軽にご質問ください。

里親制度について正しく理解いただくため、今後も普及・啓発に取り組んでいきます。



里親家庭をサポートする身近な存在

里親支援
専門相談員



定期的に各里親家庭を訪問し家族の悩みを聞く

私は名張養護学園で里親支援専門相談員として勤務しています。私の役目は、里親の皆さんに寄り添い、共に子どもたちのことを考えることです。具体的な活動内容は、里親家庭への訪問や里親サロンへの参加や協力、啓発活動などです。

子どもたちのことを
里親さんと共に考える

家庭訪問のときに話す内容は家庭によってさまざまですが、普段の生活で起きた何気ない子どものエピソードなどを楽しく聞かせてもらっています。訪問時に子どもたちと里親さんたちの楽しそうな様子を見ると気持ちが和みます。

ときには悩み事の相談もありません。相談を受けたとき、いつもの確かなアドバイスができれば良いのですが、そう簡単ではありません。里親さんと一緒に悩んで、良い方法を見つけようとしています。

子どもを愛情で包み込んであげる一方、里親さんの子育てをする上での不安や悩みを誰かと共有できるように、私のような相談員や相談窓口があります。悩みや日常の出来事など、気軽に話してほしいと思います。

子どもの成長過程では、家庭だけでなく学校、友だち関係などさまざまな問題が生まれます。それは一般家庭でも里親家庭でも同じことです。しかし、ある里親さんはこう話してくれました。

「里親をやるなんて偉いねと人から言われたけど、毎日ご飯を作って、勉強を見て、側にいてあげる。子どものために当たり前のことをや

子どものために何かした
という気持ちが大切

名張養護学園 里親支援専門相談員
政本 高志 さん



「子どもは成長過程では、家庭だけでなく学校、友だち関係などさまざまな問題が生まれます。それは一般家庭でも里親家庭でも同じことです。しかし、ある里親さんはこう話してくれました。」

「里親をやるなんて偉いねと人から言われたけど、毎日ご飯を作って、勉強を見て、側にいてあげる。子どものために当たり前のことをや

「子どもは成長過程では、家庭だけでなく学校、友だち関係などさまざまな問題が生まれます。それは一般家庭でも里親家庭でも同じことです。しかし、ある里親さんはこう話してくれました。」

「里親をやるなんて偉いねと人から言われたけど、毎日ご飯を作って、勉強を見て、側にいてあげる。子どものために当たり前のことをや

里親に関する説明会を開催します

10月は里親月間です。各地で行われる啓発イベントに合わせ、名張市でも里親説明会を開催します。制度の説明や実際に子どもを迎え入れた里親さんの体験談などをお話します。皆さんぜひ、お越しください。

「里親入門講座in名張」

日時 10月20日(土) 午前10時~11時30分

場所 市役所1階大会議室

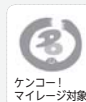
内容 ▼DVDの上映

▼児童相談センター職員による講座

▼里親さんを交えた座談会

◎参加無料。申込不要

☎ 子ども家庭室 ☎ 63-7594



ケンコー
マイレージ対象

